

たけやまのこ

2023.8/17(木)
自主学童保育ささのはクラブ

くささのは夏休み風景 / 1

① 勉強時間 朝の1時間 しゃべってたらあ、という型、まじめに勉強ねと
け、う。いっは、勉強できるのか、1時間 頑張、ています。



効かないクーラー1台 扇風器3台
それでも暑、から窓を開けと
熱風が入って来る。みんな水筒を横
に置いて、夏休みの宿題などを
やっています。宿題の少ない1年生
は「もう終、たー！」「あ、い、明日
は、別の勉強するも持、て来、ね!!」
その日、もうやるものないという人に、さ

さは特製、のひらがな、カタカナ練習プリントを渡したら、「フカンタイ、の一言に、同じ
テーブルのみんなが注目し、絵を見て、□に文字を入れる問題にワイワイ意見を
言い合っています。興味の中や語彙力の違う人達の色々な意見に「へー、そうなんだ」と
という表情が見えて、これもいいかも、と思えます。この喧騒の中で黙々と読書感想文
の読書に励む人もいて、子どもの環境順応性と集中力にびっくりもします。「生活
カードに今日は、宿題残りの④、⑤はせ、た、やる、と」と書いてある人に声をかけると
急に、まじめにやり出した、... 独特の不思議な時間です。

② 手芸 & 工作工房 10:30頃~12:00 低学年 13:30~15:30頃 高学年
昼中はカンカン照りて公園に行くのもはばかられる毎日なので1Fは工房
になります。1人1人別々の手作り作品なので、作るスピードも違うから工程
も別々、経験の差もあるから、できることもそれぞれ、見よう見まねでやることか
たたり、Xたたり、あちこちから「あー！」という叫び声が出ることも、さよ、ちんと、自
分達の力ででき上るんだね。



うさぎ
人形



ねこの
花嫁さん



ねずみのおとこ



1年木の puzzles



2年お9のさし
工作

3年
迷路ボックス



◎ 人形作りは裁縫です。学校で習うのは5年生からですが、人形作りをやる人は
1年生から、針を持って、並縫い「半返し縫い」という言葉を教わりながら
一針一針縫、ていきます。「玉止めできないなら、やるよ」と言ってくれるおせん
達にも助けられて、体も縫、し、服も縫、います。「目はどこにする？」目を付けると
表情が出ます。なぜか、作る人に似るんですよ。

◎ 工作は色々な道具を使、います。

★ 1年生は、電動ジグソーで、指、という型に、絵を描いた板を切、ります

★ 2年生は、キリで穴を開けたところに、ハビドリルで穴を開、けます。

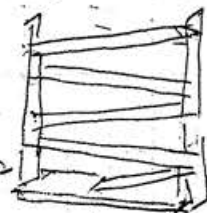
それから人形は電動ジグソーで切、ります。

★ 4年生は、キリ、ハビドリル、他、ドライバーでネジ止めをしたり、ホルトとナットを
使、たり、7、の、を色々なところで使、たりします。

★ 5、6年 さらに細かい作業があるので、



立体迷路



スクネバ

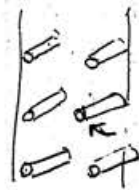
ピンバイスという、
ピンほどの細い穴を開ける道具も使、います。

「これ、ドリルみたいだね、木くずがでてくよ、
色々な道具を使うのも、とても面白、そうよ。

★ 3、4年は、迷路の設計図を書きます。「できた！どう？」と短時間で
仕上げる人、悩みに悩んで5日間もかかって「できた！」の晴れた笑顔が印象的
でした。

3、5年の迷路は「おれできない！」「エ？おれもできない！」

★ 調整、は何？ 一番調整で苦労するのがカタカタ落としの人形を落と
すところ。モデル人形(機械製)は、ととん落ちるのに、自分で切り出した
人形は、引く、返、たり、ひか、たり、そこで人形の本体をやす、てみ、たり、
くいを少し傾、けてみ、たり、指、もい、し、に工夫します。基本は、ま、す、く



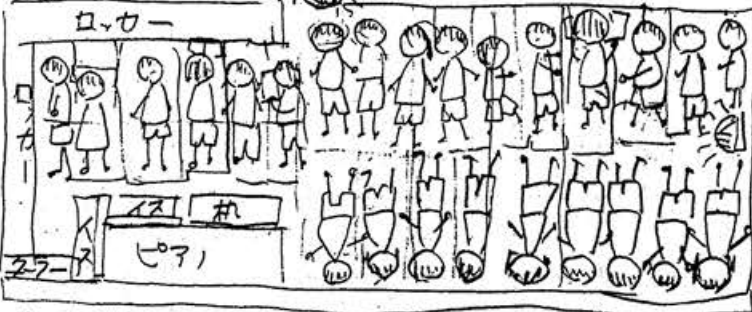
立、て、いるべきくいを、そこでひか、かるから、ちょっと内側、りに曲、げ、
み、たら、「あ、引、か、から、なくな、た、ね！や、て、み、て！」と見ていた本人
曲、が、た、く、い、が、不、満、た、ら、しく、ま、す、ぐ、に、し、直、し、て、し、ま、い、ま、し、た、

「あのね、くいを立てた穴の場所とか、わからない位、ずれることあるからね。
そこを、ずらしたり、曲、げ、たり、する、と、ま、く、い、く、こと、も、あ、る、ん、だ、よ、こ、こ、曲、げ、と、い、た、方、が
いい、思、う、ん、だ、け、ど、... 横、では、3、年、生、が、一、生、懸、命、言、っ、て、い、ま、す、お、れ、も、去、年、
苦、勞、した、け、ど、苦、勞、し、て、自、分、で、作、る、こ、と、が、大、事、な、ん、だ、よ、3、年、生、で、お、れ、な、と、
言、え、る、て、す、ご、い、い、と、す、よ、ね、ま、だ、ま、だ、苦、勞、は、続、き、ま、す、

< ささのはの夏休み風景 > 2.

③ お昼寝タイム

お昼寝タイムと言っても、どこにもごかけない日の昼食後の



時間なので、本を読んでいるうちに眠くなってきた位のお昼寝
 コヤを敷いて、一人ずつのバスタオルを敷いて、本を捧げて机を持って、場所は、クーラーの下や扇風機の近くなど涼しいところがあり毎日グループ毎の日替りです。人気の本をめくっては、借りた本の順番を決めたり大変です。

あそび冊は借りた本が人も居たため、「昼寝時間は1時間半だから1人15分ずつだったらいいんじゃない?」「これは、明日からしばらく休みだから、終わるまで読みたり」「それは、あなたの都合でしょ、それは通じないよ」(指)も呼ばれて、昼寝前にケンケンガクガク、自分の都合で勝手なことを堂々と言う人にビビリしながら、「3年生でもこんなんだらと気付いたり、低学年、て変と思いつ反論できなひんだと考えさせられたり、いつもの時間では見えなかったことが見える夏休みです。

★ その間 高学年はフリータイム、2Fの涼しい部屋でこの時ばかりは許される「マンガ」を読んだり、男女合同でトランプをしたり、折紙に熱中して超難作品を作ったり...「人形作るよー」「工作できるよー」と呼ばれるとすぐにかけつけます。さすが高学年「作りたい!」という意欲はいっぱいで自分のアテアテを發揮できる 楽しみが大きいようです。

★ 時々来てくれるOB、OGとのおしゃべりも楽しみ
 ある夏休みの日、なぜか、高校生3人中2人中1人が集結し、自分達もパキパキ、高学年達にも風まわしてパキパキ 盛り上げていました。
 お昼寝が終わる頃、帰ろうとするので「おやつ食べて行きなよー、用意したから」「エーッ暑いからいいよ」「エーッいつかおにか遠慮なんかするようになって!」
 久しぶりに会った高校生達を見て「昔の高学年、て優しかったんだよね」と感慨深く言っていた人も。「みんなも気持ちに余裕ができると優しくなれるよ、きっと」

④ 公園遊びタイム

どんなに暑い日でもせめて、1日1回夕方には行くことにしています。
 ○ 公園に行くと、高学年は階段下でボール遊び、ドッジボールやサッカーの日によっては、全員でオニゴッコ(主に増えオニ)のBGMがいきなり、みんな張り切って、パワーアップします。

○ それから午けり、でもこの頃、せきに植え込みが刈り込まれて、かくれる場所が無いのです。「花も咲かないし、虫も来ないし、かくれるところない! 何でこんなに切るんだろう!」「本当に! 今年はいいかおりがするクワナシの花だって、咲く前に枝ごと切られたよね!」
 せかく自然の残る第3公園なのですね。

○ ても 女の子達は、どこからか拾ってきた細長い棒を持って、ワイワイ遊んでいます。突然(指)に近づいて来て、棒の先をヒョイと肩のあたりに付けて、ニッコリ笑って「もらったヨ」「エッ? 何を?」「魂だよ」たぶん魂を集めた棒が強い魔法の棒になるとか?! 剣か、近づいて気付かれずにやるのが大事とか、集まるとは「ワタシ8人分」「ボク12人分」「ワー! 負けた〜」...

そんな姿を見たOBのお兄さん、「このごろのささのはは、男じゃなくて女が棒持つようになったんだ! 世の中変わったもんだな、だって!! 君も魂とらせないように気を付けた方がいいよ。」

★ このクワ暑い日々、たとえ夕方でも公園で走り回り遊んでいる子はあまり見かけません。そのせいか、子ども連れの人に声をかけられたり、話題にされたりしている様です。公園で小さい子どもを2人連れのお母さん。「この子どもさん達は何のグループですか?」「学童保育です。」「あー、やっぱりね、いつも元気いっぱい遊んでいいですね。うちもお世話になるかも」「ソリヤファミの向側です、お待ちしてますね」

★ 第2公園の前を歩いていいる時、5人の子を連れのお母さん「...お父さんもお母さんも働いていいる家の子達が、行くとさ...」と説明している声が聞こえて来ました。「学童保育」も知られるようになってきたんだなあ、ちょっと嬉しい気持ちです。それと同時に「学童保育」として、いつも見られている責任も感じます。毎日、外に出ている時も色々なことが起るけど、子ども達の生き生きした日常が伝われば「いいな」と思います。